



この1年の LibreOffice の状況を振り返る -Annual report を読む-

LibreOffice 日本語チーム
榎真治

in LibreOffice Kaigi 2021 オンライン
2021-06-12



This work is licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 Unported License.

発表の概要

- 年次報告書をベースに、昨年のLibreOfficeコミュニティを振り返り
 - この1年ではなく昨年について（汗
- 10周年であり、新マーケティング計画も打ち出した
- COVIT-19の影響で、オンラインのみへ

自己紹介：えのきしんじ

- LibreOffice日本語チーム(2011-)
- The Document Foundationメンバ(2014-)
 - TDF Membership Committee Deputies(2020-)
- 主にイベントを担当



Annual report（年次報告書）とは

- The Document Foundationがドイツの法律に基づいて作成している年次報告書
 - 法的な正式版はドイツ語。英語版を作ってドイツ語に翻訳している
- 財務だけでなく、LibreOffice全体や、各プロジェクト、各地域の活動など網羅的に紹介
 - 報告書だけでおおよそLibreOfficeの動きがわかる

COVID-19の影響（いきなり私見）

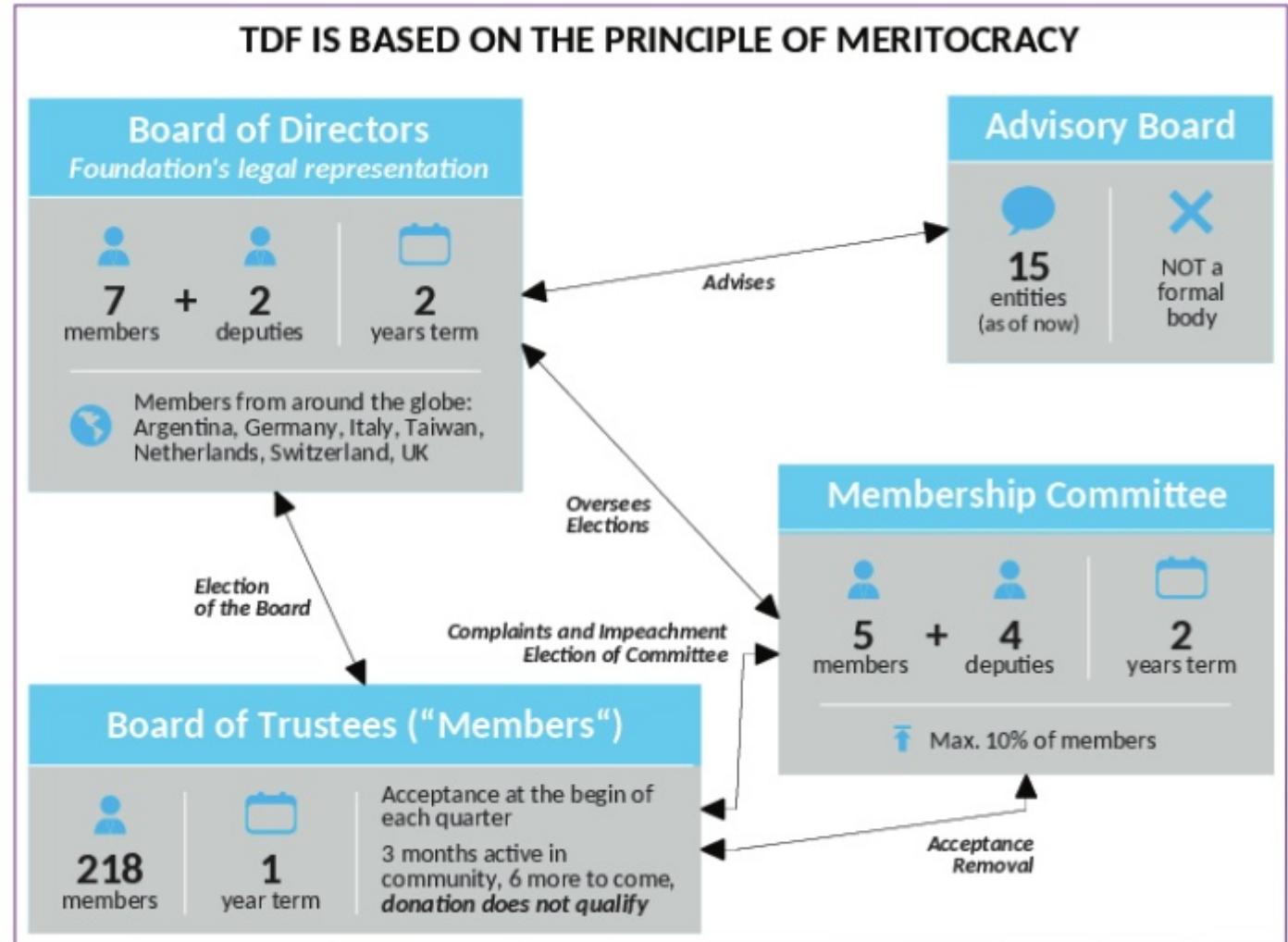
- 開発活動は元からオンラインなので大きな影響はなし
- コミュニケーションが取りづらい問題
 - 新マーケティングプランなど意見が衝突しやすいテーマはオフラインの方が伝わりやすい
 - アジアなど遠方からは議論に参加しやすくなった？
- Jitsiでビデオミーティングするようになった
 - MCはチャット中心だから英語苦手でも大丈夫、と聞いて立候補したのだけど（汗
- 大変だったり、疲れている人も（LibreOfficeコミュニティに限らず）

TDFの体制図とメンバー管理委員会（MC）選挙

Election of new Membership Committee (MC)

Members - more formally known as the "Board of Trustees" - are a crucial part of The Document Foundation. They are people from across the globe who contribute time, effort and skills, whether on a voluntary or paid basis. Members can vote for the Board of Directors (aka BoD) and the Membership Committee (MC), and also nominate themselves for a position in the BoD and the MC.

The mission of the MC is to administer membership applications and renewals following the criteria defined in



Advisory Board : 15組織



10周年/20周年

- LibreOffice 10周年、OpenOffice.orgから20周年
 - リアルイベントがいろいろ企画されていたができなくなった
- オンラインでいくつかイベント



openSUSE + LibreOffice Conference もオンライン開催

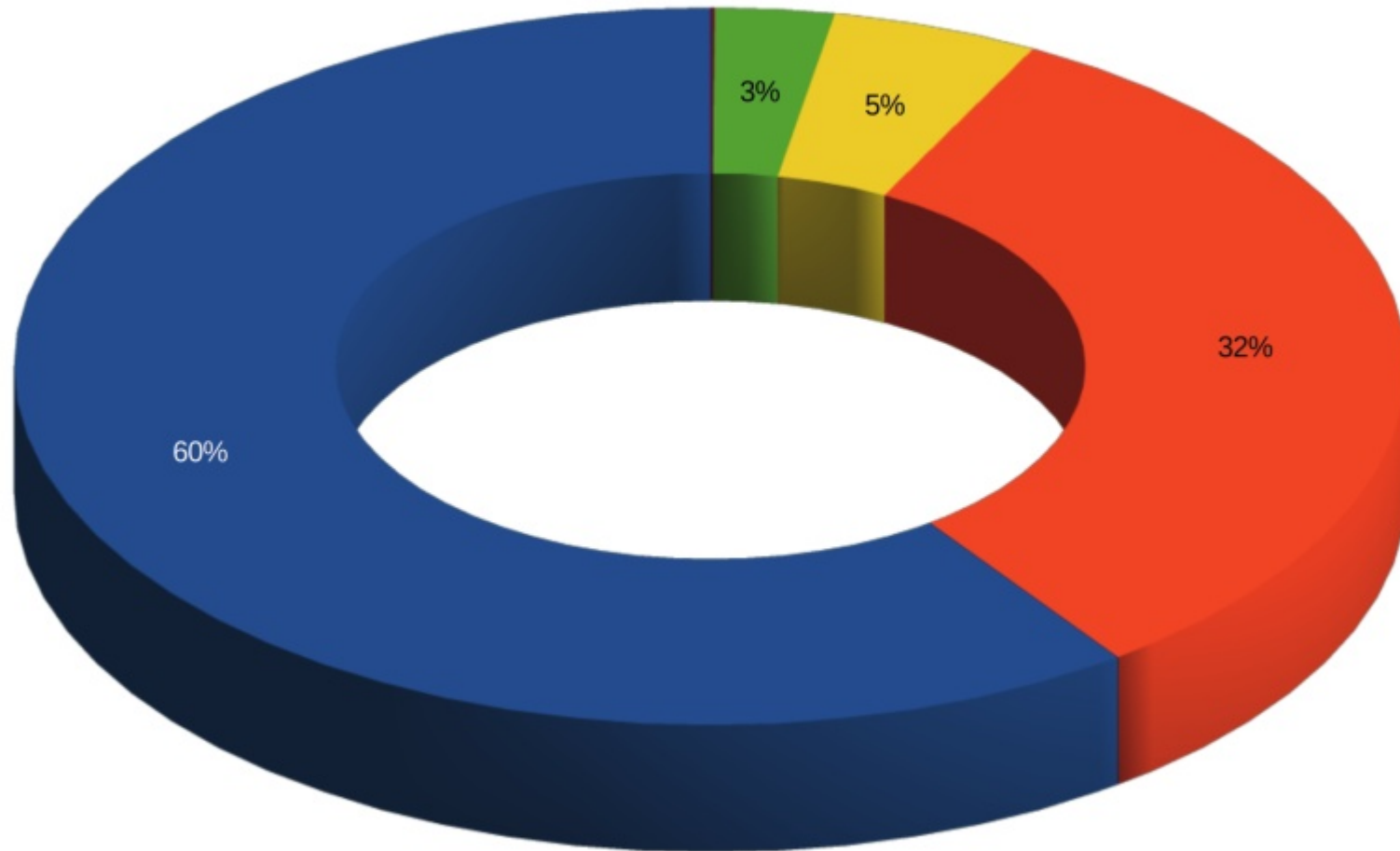
- 3日間3トラックくらいとそこそこ発表数あり
- 今年も9月にオンライン開催
 - 現在発表申込（CfP）受付中

2020

財務会計、予算

- 収入：
 - 個人からの寄付の比率が高い
 - 今年はパンデミックの影響で自宅での利用者が増えてダウンロード数増加→寄付も大幅増
 - 寄付いただけていることに感謝

The Document Foundation: Sources of Income in 2020



■ Donations PayPal ■ Donations Credit Cards ■ Other Donations
■ AB Members Fees ■ Other Income

Closing Ledgers 2020

Total income	€ 1.366.945,82
Total expenses (with depreciation)	€ 780.964,29
Total expenses for hardware assets	€ 4.929,01
Assets (with depreciation)	€ 4.198,01
Foundation result	€ 622.074,74
Free reserves	€ 681.233,57
Business entity profits	€ 37.111,08

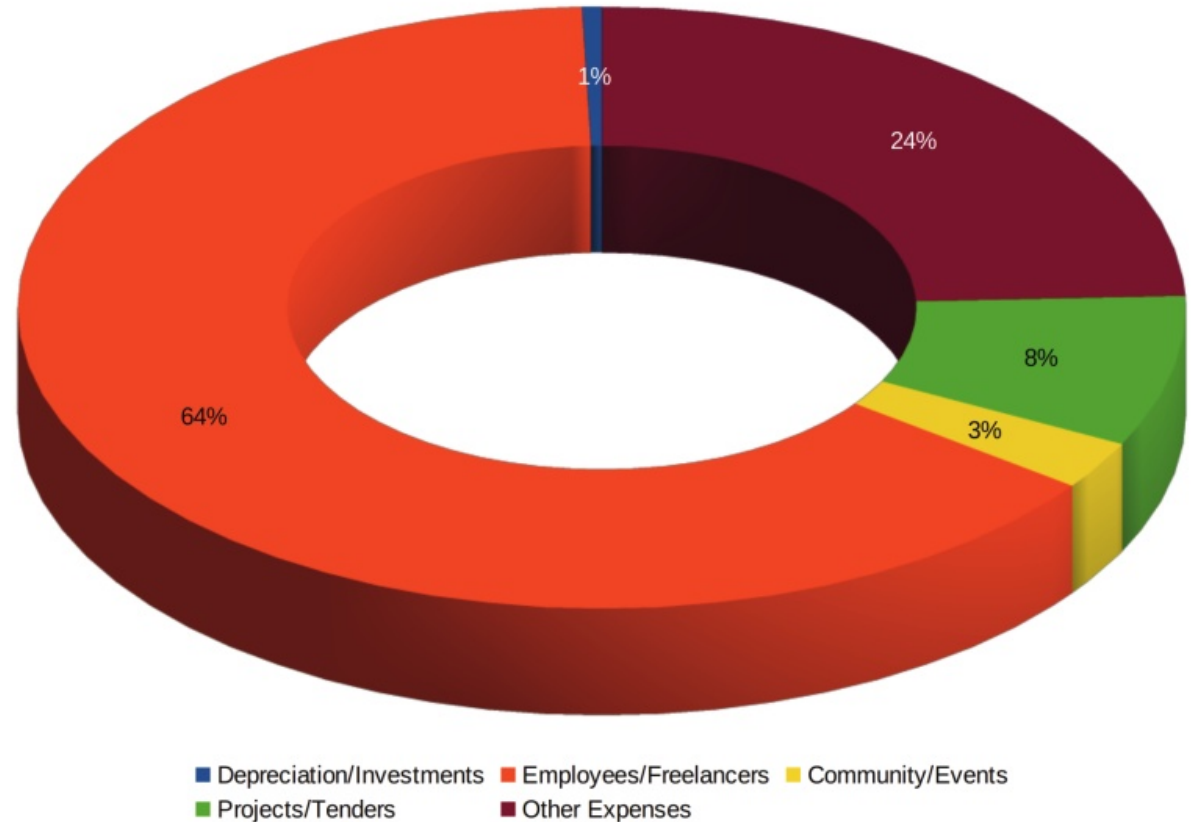
Analysis of Individual Items 2020

Costs for employees and freelancers	€ 499.012,00
Legal advice and accounting	€ 40.788,42
LibreOffice Conference and FOSDEM travel	€ 14.761,04
Marketing (anything related to outside advertising)	€ 3.109,06
Community (anything related to community building)	€ 2.303,08
Infrastructure costs (without hardware assets)	€ 45.760,13
Development of ODF (COSM Project)	€ 25.452,43
Introduction of CiviCRM for Foundation work	€ 5.032,20
Xray-Tool to document UNO-API	€ 32.630,48
Banking, C/C, PayPal & currency conversion fees	€ 63.430,34
Ongoing costs & fees	€ 8.596,51

財務会計、予算(4)

- イベント費用、旅費が減って人件費率上昇

The Document Foundation: Expenses in 2020

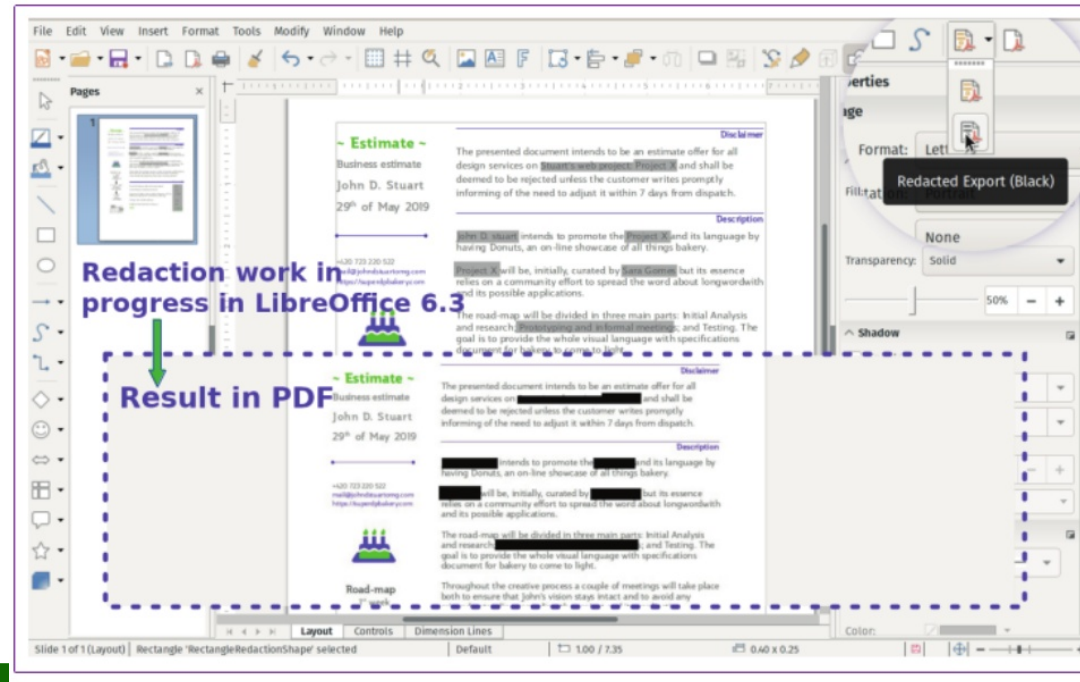


定例メジャーバージョンアップ：6.4と7.0

- 6.4 : 2020/1/29
- 7.0 : 2020/8/5
- 1月末から2月、7月末から8月の年2回

6.4リリース

- もう1年以上昔でサポートも終わってますが...
- 報告書では墨消し機能の自動削除化がピックアップ



7.0リリース

- ODF 1.3対応
- グラフィックエンジンSkiaのサポート
 - まだ安定していないのか、Skiaをオフにしたらグラフィック問題が解決するひとがちらほら
- 先日7.0系がサポート終了(EOL)に



新マーケティングプラン

- 10周年を機に、マーケティングプランを新たに
- クラウドやモバイルがますます重要になってきた
 - このままではプロプラの世界になってしまう危機感
- LibreOffice Technology
 - デスクトップ、モバイル、クラウドで同じプラットフォームを利用
 - LibreOfficeベースというアピール

新マーケティングプラン

- TDFリリース版をLibreOffice Communityと呼んで、エコシステムパートナー（企業）の LibreOffice Enterpriseと区別することに
 - 今年の7.1から適用
- 企業や団体への導入にはLibreOffice Enterpriseを推奨
- エコシステムパートナーの増加や発展が狙い
 - 供給側の論理だけでなく、利用組織にとってもサポートがあった方が導入成功率が高まる、という意味もあると思う

ODFとデジタル主権（Digital Sovereignty）

- ヨーロッパではアメリカのサービスやクラウドにデータを吸い取られている危機感が強い
- デジタル主権を取り戻そうとする政治戦略的な運動がある
 - GDPRもその流れにある
- ODF1.3がLibreOffice 7.0で実装。ヨーロッパのデジタル主権の基礎になる、と報告書でアピール

ODFとデジタル主権（Digital Sovereignty）（2）

- ソフトウェアは、デスクトップのオフィスソフト、クラウドストレージをFOSSに
- データ形式は、相互運用性の確保できるODFにして、欧州政府は市民の個人データの管理を取り戻せる
- 具体的に政府への働きかけをどのようにしているかは言及されていないが、FSFEと連携して活動しているのかも



Native Language Projects

- 各言語プロジェクトが報告した内容を記載
- 活動していても報告してなくて載っていないケースも
- Central Kurdish（中央クルド語）が追加された。わりとがんばって翻訳しているらしい
- エスペラント語のUI翻訳率の高さにびっくり
- 台湾：AsiaConはキャンセルになったが、ブログをリプレースしたり、認定合格者が増えたり、自治体導入が進んだり
- トルコ：メンタリングして、学生開発者を育ててる

開発：トレンドはかわらず。安定

- gitコミット数は、Collabora、不明（個人）、Redhatの順らしい

Development Overview 2020 Git

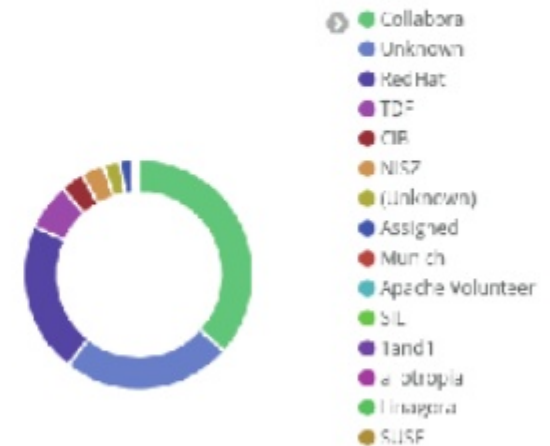
Commits



Authors

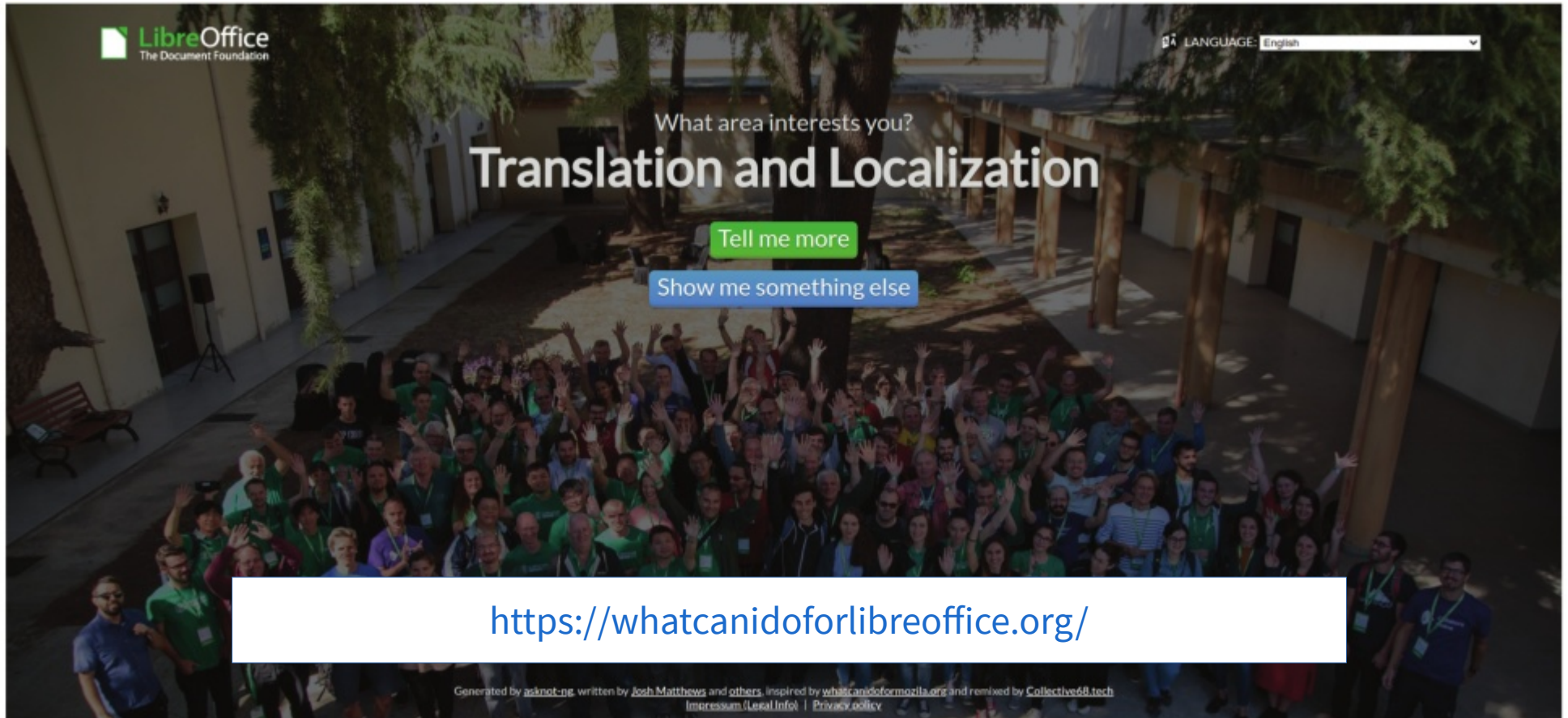


Organizations



新しく参加を考えている人向けのWebサイト

- 質問に答えていくと、おすすめの分野が示される



QA(品質保証)

- 2020年は、3,726ユーザから9,631件のバグ報告
 - 毎週185件ペース

directly responding to end users, the QA team must be nimble and able to adapt to changes. In addition, it must deal with specific requests for help from other teams.

The QA team meets regularly on IRC on the #libreoffice-qa channel, which is the best medium for discussing bugs and regressions. The IRC channel provides an excellent opportunity to remain in close contact with team members, and to tutor new members in the art and skill of LibreOffice QA. This is bridged to the Telegram group at https://t.me/LibreOffice_QA.

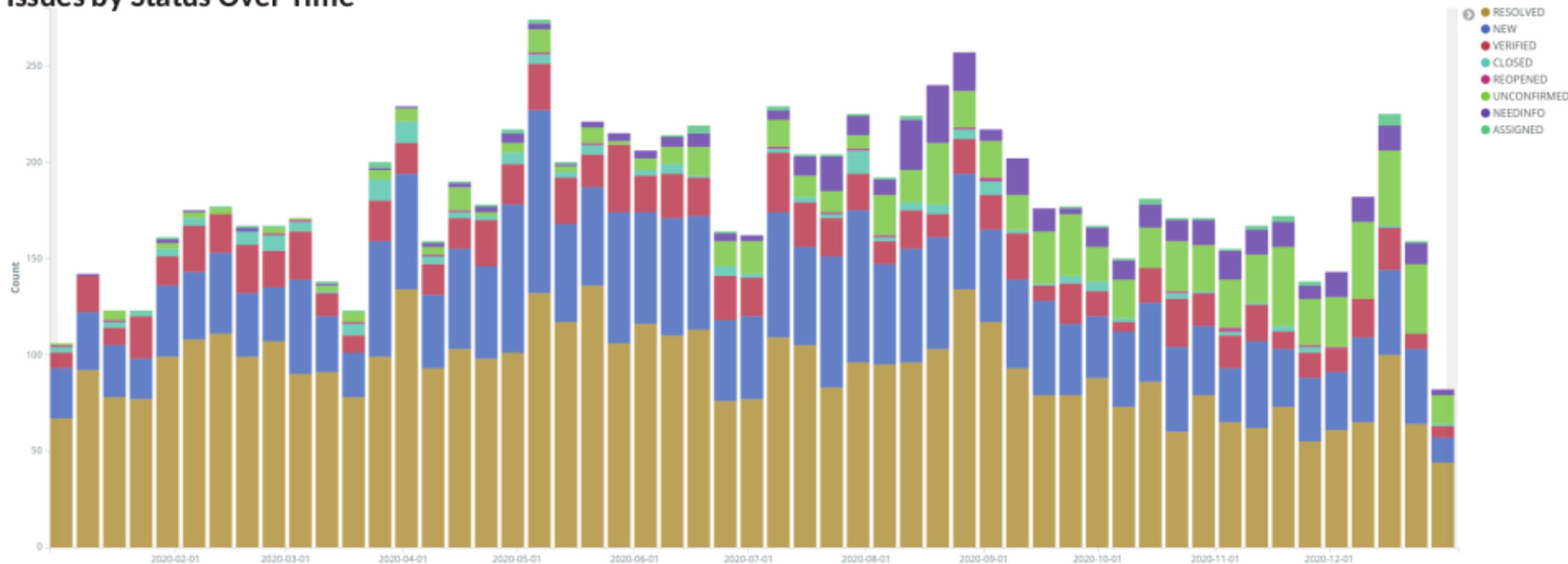
The following chart shows issues by status, over 2020:

Top 10 bug reporters

Telesto	1492
NISZ LibreOffice Team	367
Xisco Faulí	246
Mike Kaganski	125
Andreas Kainz	118
Seth Chaiklin	112
Regina Henschel	108
Heiko Tietze	100
R. Green	85
Roman Kuznetsov	78
Timur	76

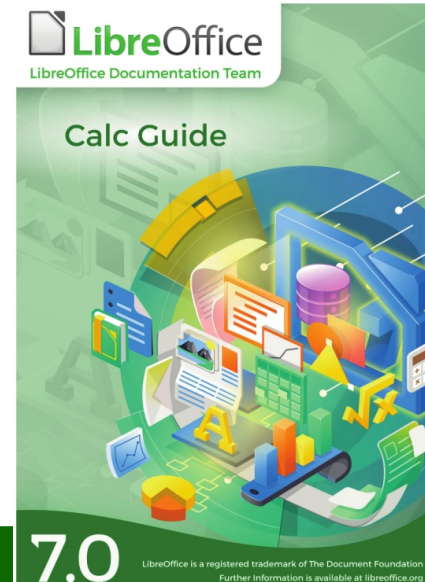
Issues by Status, over time

Issues by Status Over Time



ドキュメンテーション

- ガイドブックが怒涛の更新
- バージョンアップがなかなか出来ていなかったのが、6.4や7.0へ
- Calc GuideとWriter Guideは今年に入って7.1対応へ



インフラ

- 拡張機能・テンプレートサイトがリニューアル
 - 以前のサイトがメンテナンス不能になっていた
- 質問サイトをAskBotからDiscourseへ移行テスト
 - 実際の移行は今年8月第1週から作業
- Debian 10へのアップデートなど様々なアップデート
- SSOを使うシステムが増えた
 - Gerrit、新拡張機能テンプレートサイト、Discourse、Jitsi、Moodle

TDF Webサイトのアクセス (2020年)

documentfoundation.org

- 146,261回アクセス、196,802ページビュー
- ヨーロッパ(57%)、北米(22.8%)、アジア(12.4%)
- Windows(64.1%)、macOS(9.2%)、Linux(9.0%)
- Chrome(38.4%)、Firefox(22.1%)、Edge(14%)

LibreOfficeのWebサイトアクセス（2020年）

英語サイトのデータ

- 言語ごとに別サイトになっているが、言語切り替えメニューをつけた
- 19,939,066アクセス、47,589,717ページビュー
- ヨーロッパ(53.4%)、アジア(16.7%)、北米(15.8%)、南米(10.3%)
- Windows(83.1%)、macOS(6.6%)、Linux(3.7%)
- Chrome(49.3%)、Edge(18.4%)、Firefox(17.9%)

blog

- 英語ブログの他にいくつかの言語のブログがある（日本語も）
- 2020年のページビューは、184,538(146,170ユニークページビュー)
- LibreOffice 6.4と7.0のリリース記事が最も人気。マイナーバージョンリリースがそれに次ぐ人気

SNS: 2020年での変化

- Twitter (@LibreOffice)
 - フォロアー数が2020年に、29,340→36,996へ増加
 - メジャーリリースが最も人気。コミュニティメンバ紹介のインタビューで貢献者の獲得ツイートもした
- Mastodon(<https://fosstodon.org/@libreoffice>)
 - フォロアー数が3,297→4,879へ増加
- Facebook page
 - ページへのいいね、56,095→58,516
 - Facebookのユーザ活動は減少傾向にあるが、質問やフィードバックには向いている

SNS(2)

- Youtubeチャンネル
 - 登録者数：9,975 →12,807
 - 再生回数：1,587,341→2,042,731
 - “LibreOffice 7.0: New Features”が人気（インドネシアコミュニティが制作）

主要な貢献者：各種開発活動をポイント化？

COMMUNITY CONTRIBUTIONS					
Caolán McNamara	2275	Michael Stahl	300	Björn Michaelsen	124
Noel Grandin	1477	Julien Nabet	244	Pranam Lashkari	123
Stephan Bergmann	1102	Michael Meeks	238	Alain Romedenne	122
Andrea Gelmini	630	Rizal Muttaqin	229	Eike Rathke [er]	118
Tamás Zolnai	588	Andreas Kainz	209	Steve Fanning	110
Miklos Vajna	585	Henry Castro	204	Samuel Mehrbrodt	104
Johnny M.	463	Jan Holešovský	193	Gabor Kelemen	99
Xisco Faulí	450	Dennis Francis	188	Jim Raykowski	96
Szymon Kłos	443	Andras Timar	160	Philipp Hofer	90
Olivier Hallot	423	Justin Luth	157	Heiko Tietze	86
Tor Lillqvist	421	Jan-Marek Glogowski	151	Adolfo J. Barrientos	78
Tomaž Vajngerl	389	Ashod Nakashian	148	Michael Weghorn	73
Luboš Luňák	388	László Németh	143	Muhammet Kara	73
Seth Chaiklin	382	Pedro Pinto da Silva	143	Gökay Şatir	68
Mike Kaganski	339	Christian Lohmaier	128	Mert Tümer	68

オンライン版とモバイル版

- 報告書にはないが、オンライン版とモバイル版は Collaboraがフォークしてgithubで開発することに
- バックエンドはLibreOfficeを利用しており、LibreOfficeエコシステムの一部
 - デスクトップ版については、Collaboraも LibreOfficeコミュニティで活動

オンライン版とモバイル版(2)

- オンライン版
 - タブUI採用、サイドバーの強化、Drawもサポートレベル強化、使えるダイアログも増えた
 - Nextcloudと組み合わせた利用が多い
- iOS/Android版もだいぶ使えるレベルになってきた
 - 機能的に足りない部分や不安定な場合もある
 - スマホやタブレットでは簡単な閲覧編集ができればいいケースが多いので、そこそこ便利

まとめ

- 年次報告書をベースに2020年を振り返ってみた
- LibreOfficeは様々な活動の複合体としてなりたっている
- パンデミックの影響でダウンロード、寄付額は増えた
- クラウド、モバイル化の流れもあり、LibreOfficeとしては変化への対応と挑戦は続く